

# 目合わせ手つなぎ交流

## 筑波学院大 新入生がスクエアダンス

筑波学院大（つくば市吾妻）は6日、新入生対象オリエンテーションのフレッシュマンセミナーの一環で、新入生同士の交流を促す「スクエアダンス」の講習会を初めて行い、約120人が参加した。

スクエアダンスは、2人1組の男女が4組で組んで、指示者となるコーラーの英語の指示に従って踊る米国発祥のダンスだ。

セミナー担当の金久保紀子准教授は「ルールや指示に従って、パートナーと手をつないで動きながら、他の人と手をつないだり、顔や目を合わせたりする。グループ活動やクラス活動がスムーズに



コーラーの指示に従い手をつないで踊る新入生たち—つくば市吾妻の筑波学院大

進むように今回実施した」と狙いを話した。

金久保准教授は「女の子と手をつなぐのも初めて、という学生もいる」といい、就職活動で求められるコミュニケーション能力の向上にもつながるとい

う。講習会では一般市民

は楽しくなった。最終的には楽しくて、とてもいいダンスだと思っただ」と感想を述べた。講習会の雰囲気盛り上げるために在校生も参加。同学科3年の前内友香さん（20）は「こういう機会が無いと、1年生と触れ合う機会が無い。交流の機会が持てて良かった」と話した。（崎山勝功）

サークルの筑波スクエアクラブ会員の協力を得て、学生たちがぎこちない動きながらも、コーラーの指示に従いスクエアダンスを踊った。

経営情報学科1年の中村大地さん（18）は「最初はちょっと難しかったけど、後半から